

過疎地域の存続と確かな未来を築け 一定の社会人採用で優秀な人材確保を



井上 敏雄 議員

本川・吾北両地区で計7回、住民の切実な要望を傍聴したうち4点を問う。

- ①子育て世帯の移住対策と西条市との連携は
- ②移動手段への対応は
- ③高齢化や人口減に伴う生活物資の供給体制は
- ④過疎化対策チームの設置

久松副町長

①子育て世帯の移住は進んでいない。本川地区のような大自然の中で子育てを希望し、勤務先は西条市といった生活様式はあまりPRできていなかったが、このたび、西条市に就職情報

を確認すると、求人募集があるとのこと。

西条市とは山岳観光を中心に連携しているため、今後協力をお願いする。また、当町のホームページなどでも積極的にPR活動に努め、移住促進につなげていく。

②本川の未来を考える会で移動手段のうち、西条市との接続やバスの路線変更、運賃補助といった意見があり、現在住民にアンケート調査を実施している。

その結果を確認して住民の要求に少しでも応えられるよう検討していく。

③この課題は早急に対策を講じなければならない。例えば先進事例では、見守り活動も含め買い物の手助けを行う協力店を、一覧にして紹介する事例もある。

民間業者にも協力を仰ぎながら、行政も可能な施策を講じていく。

④本川・吾北・伊野山間地の共通した課題である。町は、プロジェクトチームを編成し、それぞれの地区に合った対策をチームで立案する。総合支所で実施できること、全庁的に取り組む必要性のあることなどを勘案し課題解決に努める。

社会人枠の採用

井上議員

経験豊富な民間の優秀な人材を採用し、多様化する行政需要に取り組み、覇気ある町政の実現を図れ。

池田町長

地方公務員の採用では、年齢制限を緩和、あるいはなくした形で、社会人枠採用試験を実施している自治体が増えている。

多様化する行政需要に対し、民間の視点を導入するために、企業などでの豊富な知識と経験を有する優秀な人材を確保するため、また、U・イターンなど町への移住・定住につながる機会にもなるため、社会人枠

採用は有意義である。

町は、特に人材確保が困難な医師・看護師は年齢制限を設けず採用してきた。

さらに、平成30年度に向けて土木・情報処理・介護支援専門員・保育士の職種で、民間企業などでの業務経験を有することを条件に、採用試験を計画している。

総合政策課に社会人枠での採用を、との要請には、平成30年度に向けて検討していく。

総合案内の効果は

井上議員

総合案内の業務委託費は高額であると、前議会で修正発議もあったが、費用対効果は。

池田町長

総合案内は、職員の当番制ののち、平成29年12月から平成30年3月末日まで、民間事業者へ委託している。

現在の案内サインでは誘導しきれない部分を補い、来庁者に安心感を与える役

割として必要であり、サービス向上につながっている。また、職員の当番制から本来の業務に専念できることから、費用対効果に一定の成果が上がっている。

なお、現在、案内人は業者が町内に在住の女性3人を雇用し、当番制で業務を行っている。まだ不慣れなところもあるようだが、経験を積むことにより、サービス向上につながるものと期待している

業務委託費は、4社で指名競争入札を実施。予定額約193万円が95万400円で落札され契約している。

その他の質問

・地域おこし協力隊の起業支援と定住対策及びそれぞれの分野で活躍できる隊員増を図るべきだ。

・町人口の社会増を目指した計画的な対応を
・ふるさと納税対策には、創意工夫で情報発信、専従班設置、納税者と密な交流で増額を図れ

・むささび温泉の経営改革と現有施設での将来性は